

平成 27 年度第 5 回 周南市地域公共交通会議議事録

1. 日時 平成 28 年 1 月 25 日 14 時 00 分～15 時 30 分

2. 場所 周南市文化会館 3 階展示室

3. 出席委員：15 名

団 体 名	委 員 名
周南市 環境生活部長	野崎 俊明
中国運輸局 山口運輸支局	宗像 恵太郎
防長交通株式会社	牧 洋史
西日本旅客鉄道株式会社	保見 孝好
大津島巡航株式会社	中村 浩二
周南市自治会連合会	中村 利孝
周南市老人クラブ連合会	原田 邦昭
周南市障害者団体連合会	徳毛 裕之
鹿野地区女性団体連絡協議会	有國 美恵子
私鉄中国地方労働組合防長交通支部	積 敏幸
周南警察署	別府 利宏
中国地方整備局 山口河川国道事務所	丹後 浩一
山口県 商工労働部 交通政策課	浜口 和彦
山口県 周南土木建築事務所	重本 和生
徳山工業高等専門学校	古田 健一

4. 欠席委員：2 名

団 体 名	委 員 名
徳山タクシー協会	清水 延隆
光警察署	岡村 孝之

5. オブザーバー：1 名

団 体 名	オブザーバー名
周南市 都市整備部 都市計画課	有馬 善己

6. 事務局：環境生活部 生活安全課
株式会社バイタルリード

7. 議 題

(1) 周南市地域公共交通網形成計画素案について (資料 1)

1 開会

- 事務局 それでは平成 27 年度第 5 回周南市公共交通会議を開催いたします。本日の会議につきましては周南市地域公共交通会議規約第 7 条第 2 項の規定により、委員の過半数の出席がありますので成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、次第に沿いまして議事を進めさせていただきます。
野崎会長よろしくお願いたします。

2 会長あいさつ

- ◎会 長 こんにちは。本日はお忙しい中、またお寒い中、周南市地域公共交通会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
それでは、早速議事に入ります。

3 協議事項 第 3 回会議以降に実施した各種調査結果の概要について

- ◎会 長 議題 (1)「周南市地域公共交通網形成計画素案について」事務局から説明をお願いいたします。
- 事務局 (資料に沿って説明)
- ◎会 長 ただいまの議案について何かご質問等ありますか。
- 委 員 今ご説明いただいた資料の、「(5) 事業実施期間及び計画達成状況の評価指標」に「⑦パークアンドライドの推進」の項目がありますが、確か昭和 50 年代後半頃に宮崎交通さんが初めて採用したと記憶しています。乗り継ぎは面倒なことなので、ノーカーとのセットで考えないと、一人歩きになってしまい実質的に効果が出ないのではないかと思います。行政と企業の理解・協力がもちろんですが、一定区間をノーマイカー区間にするだとか、ノーカーデーだからマイカーの利用ができないというくらいのことをしないと、パークアンドライドだけを推進するといってもまず効果は上がらないのではと思うのですが、いかがでしょうか。
- 事務局 ご意見ありがとうございます。この件については、中山間地域生活交通検討会で意見が出ています。例えば、ご高齢のドライバーの方で、地域内であれば運転できるが、徳山の方まで行きたい時は怖くて運転ができないという方もいらっしゃいます。須々万～徳山間の路線バスは多くの便数が走っているので、須々万の中心部にあ

るバス停付近までだったら自分で運転して行けるのに、駐車場が無いというご意見をいただきました。バス停まで来ていただけるのならパークアンドライドというものが成り立つのではないかということで、事業として挙げさせていただいています。

◎会 長 よろしいですか。

○委 員 はい、大丈夫です。

◎会 長 要するに、全市ではなく、まずは地域や対象者を絞り込んでから行うということですね。

●事務局 そうですね。

○委 員 まず、この計画案を作成されるのは大変だったろうなと感心しております。

この計画案が施行段階に移る時に民間の関連事業者を財政的に圧迫するということはありませんか。その点は市として考えがあるのかということを知りたいです。

それから、今後障がい者など交通弱者は増えていくと予想されます。例えば1つ目に、ノンステップバスを最初は徐々に、最終的には全車導入するなど、バスのバリアフリー化の実現。2つ目に、駅前等主要バス停だけでも、デジタルや音で示すなど多様な障がいに配慮した対応。このような仕組みを整備し、障がい者が自立できるような交通環境にしていいただければ心強い。もちろん今すぐに実行するというのはすごく大変なことなので、市や民間の財政が許す限り、段階を追いながら、10年後に完成できればいいと感じております。

それと、資料58ページの絵に鹿野、須々万、高水などの5つの拠点が丸で示され、路線に線が引かれていますが、絵の中の点線路線はコミュニティバスが運行、主要な実線路線は路線バスが運行ということが実現し、この2つが連携する仕組みが整備されればより活性化するのではないかと感じております。

もう一つは負担の問題ですが、障がい者はもちろんのこと交通弱者でバスを利用する人は、年金で暮らしている方も多いのではないかと思います。料金が高いと、外出するのをやめることも考えられるのではないのでしょうか。そういうことでは街が活性化しない。人が乗って初めて活性化されると思うので、料金についてある程度の配慮は然るべきでないのかということを感じます。以上です。

●事務局 個別事業を進める上での色々な調整事項の話が出たと思いますが、行政、民間事業者、交通事業者、住民の方などいろんな調整が

必要になってくると思います。そのあたりは個別事業の中で様々な調整をして進めていくように思っております。なので、現段階では具体的内容を決めるのではなく、今後の個別の事業の中でそれぞれ検討を進めて協議を進めてやっていこうと思っております。

○委員　もう一つ言わせてください。JRの管轄かもしれないのでここで言うべきかどうかはわかりませんが、12ページに駅の写真がありますよね。この階段の真ん中に手すりがあったら良いなと思います。例えば神社に参る途中の石段の真ん中にはよく手すりが設置されていますよね。駅に行くための階段の手すりにも同様の物を設置してもらおうよう是非JRに要望をしていただきたいなと感じました。以上です。

○委員　JRです。今のご質問にありました階段についてですが、こちらの管轄はJRではなくて周南市です。駅へ行く階段を含む自由通路は道路という扱いになりますので、JRでは手が出せません。申し訳ないです。

○委員　JRから市に要望をしていただければ、より意見が通りやすいのではないのでしょうか。

○委員　要望でしたらできるかもしれません。

○委員　では要望をお願いします。

○委員　すみません、防長交通です。先ほどから私どもにとって非常に心強くありがたいご意見誠にありがとうございます。いくつかの点、少々かいつまんでお話をさせていただきます。

まず一点目、先ほどお話いただきましたパークアンドライドについては、実は防長交通でも、できれば中心市街地についてはバスで、郊外についてはマイカーでという切り替えによって、街の中心部の渋滞解消や環境負荷の低減ができるのではないかと考えており、周南市さんをはじめ県内各市でそういったご提案をさせていただいております。なかなか難しいところもあるので、長期的なお話になるかとは思いますが。乗り換え部分のパークアンドライドだけではなく、バスとバス、鉄道などとの乗継の整備は今回の計画の中で方針をいただいておりますので、そういう整理でお願いしたいと思っております。

また二点目、先ほどお話のありましたA3用紙右側の(5)に①から⑰までの項目がありますが、これを一つ一つやるというのは難しいと思うので、この計画を前提に防長交通でも「こういう路線網にしていきたい」、「このようにしたらどうだろう」といった提案を

市さんにしていこうと思っています。その中で、例えば「②移動ニーズに合わせた路線バスの経路再設定」と、「④市街地循環線の導入」を合わせて行うなど、いくつかの項目を組み合わせることもあろうかと思っています。そして当社で速やかに実施可能なことについては極力早く実施をして行きたいと思っています。

というのは運転士の確保について項目⑩でもお考えいただいているのですが、運転士のなり手がなかなかいません。また、高齢化等によって運転士自体が減って行く傾向の方が強く、実際は現状の路線を維持するだけでも大変です。そういった点から、ネットワークの変更で路線網が細くなった場合、どうしてもその路線に必要な運転士さんの数が増えるため、増えた分だけ他の路線を減らさないといけなくなってしまう。このような点も踏まえて、市さんと整合性を図りながらネットワークを見直していこうと考えています。

三点目、先ほどお話に挙がりましたバリアフリーについては、当社も市と相談し、道路法やバス停との整合を踏まえつつ、そしてバリアフリー車も高価ですので頻繁に買えないですが、少しずつでも導入していく予定です。貸切タイプのバスも、極力出入り口が下がる車を用意できるよう、徐々にですが進めていきたいと思っています。車内の手すりなどの整備についても、バスメーカーともタイアップして進めていこうと考えています。

市さんがお考えいただくことの実現について、バス事業者も歩みを共にしていくつもりです。ただ少しずつスピードを上げていかないと、バス事業者はかなり苦しいことと、いくつかの事業を組み合わせる形でやらせていただきたいというのはみなさんにもご理解いただきたいと思っています。

②番については、病院に行きたいなどの、様々なニーズがあるのも私どもも十分に認識しております。先ほども申し上げたように、運転士が不足している中で絞り込んでやっていくということも市さん、ご利用いただくみなさんとお話しながら進めていくとともに、バス事業者としてはこういう風にしたらどうかという具体的な提案もしていきたいと思っています。

○委員　もう一ついいですか。実現されている市もあると思うのですが、この計画を周南市で実行、施行するに当たりまして、未知の世界なのだから努力というものが一番必要なのではないでしょうか。やはりそれなりの形が一つないといけな。そこで市の職員が率先してマ

イカー通勤を控えてはいかがでしょうか。もちろん、遠いところから通勤する人は大変なので、その基準はそれぞれの部署で判断していただき、基本的に市の職員は公共交通で通勤するという事になれば、市民に対して非常にアピールになると思います。提案として一つ。以上です。

○委員　　まず 49 ページですが、市内の高校、高専の生徒と保護者にアンケートをとられていて、その結果を踏まえて今後改善したいという方向が示されているということはとても評価できると思います。

あとは中山間地域の鹿野地区には障がい者の作業所が無く、新南陽まで相当高い運賃を支払って通っているとの話も聞きますので、そういう方たちのための特例措置がないのかということをお伝えしておきます。

それと、公共交通を街づくりの軸とするという言葉が p 59 の基本方針 3 の中に書いてありますが、公共交通を軸とした街づくりの推進に対して行政がどのくらい本気なのか、その度合いを知りたいですね。なかなかこのような言葉は出てこない気がするので、実際にはどうなのか、本当に実現するのかなと思う。本日は積雪 30cm でしたが、公共交通会議に出るのだから公共交通を利用して行こうと思い、午前中は頑張って情報収集をしてみました。コアプラザからのバスがあるはずだから、何時に出ているのか聞こうと思い、コアプラザかのに電話をしたところ、「本日は始発が 10 時くらいでしたし、どうも混乱しているので防長バスにお電話なさったらどうですか。」と言われました。そこでもし「大丈夫です。バスは来ます。」という情報がもう役場には入っていて、「安全の為にバスの利用をしてください。」という案内があれば、間違いなくバスを利用していただきたいと思います。情報がわからないため仕方なく車で向かったところ、ものすごいアイスバーンでした。帰りはどうしようかと思うくらいで、徳山方面から鹿野に通勤される方はよく無事に着いたなと思うような道でした。途中で無人の鹿野行き路線バスにも出会いましたが、折り返して徳山方面に運行するだろうから、バスが運行しているのなら私はあのバスに乗れば徳山まで行けたのかと思いました。市民のために、情報共有を本気でする気があるのですか。どこに問い合わせれば市民は安心して公共交通が利用できるのか、窓口を知りたいと私は今日必死に思ったことを伝えたかったのです。

それともう一つだけ。目標2に、動物園まで公共交通を利用する人を増やしたいということですが、動物園の来園者は、子供を育てている方たちが多いと思います。祖父母も含め。子育て世代はベビーカーも持って行きたいですし、荷物も多いので、果たしてバスを利用するのか疑問に思います。公共交通を利用する動機としてわくわくするかどうかが非常に大事だと思いますので、相当わくわくしないと子育て世代は動物園に行くためにバスを利用しないのではないのでしょうか。

○委員 すみません。今の質問で一つ誤解されている点があると思うので言わせてください。障害者の特別措置についてですが、障がい者が鹿野から市街地部の施設に通うための補助は、障害者支援課から既に出ているので、これ以上の補助は必要ないと思います。私は、公共交通でも人に頼らずバスに乗り、自分で外出できるための整備を行うことがバリアフリーというもので、健常者であれ障がい者であれ区別なく共生するということが基本だと考えています。健常者も加齢とともに移動が不自由になってしまう。だから、皆のためにバリアフリーが必要だという考え方です。とにかく、障がい者の移動に対しての補助があるのは確かです。

○委員 すみません、バスの利用について。周南市さんにも色々ご苦心いただいているところなのですが、本日は雪の為に本当に申し訳ありません。鹿野の車庫前の道路が凍結しておりましたので、9時35分まで鹿野発の便はすべて運休させていただきました。運行後もゆっくり走っていたことで時間通りのダイヤではなかったため、申し訳ないです。我々もFaceBook等でリアルタイムを目指した情報提示をしているのですが、ご存知ない方たちにはなかなか見ていただけていないことも実情です。通常時の鹿野線はほぼ1時間ごとに運行していますので、市さんにもご配布いただいているこの時刻表冊子をご覧くださいのが一番良いのですが、正直全て読むのは難しいものがありますよね。ですので、様々な方面別の時刻表等を整備することを検討中で、今回計画の目標⑫番の項目にも入れていただいています。実はお祭りの日の臨時便を含めた時刻表等は既に作成していますし、当社も素材を持っているので、市さんと協力して作って行けると思います。しかし我々だけでは発信力が弱い部分もありますから、例えば運行情報を市さんが発信するラインにのせてもらうといったことも、この計画の中では考えていけないのではないかと考えています。例えば次回この会議をする日に、鹿野から何時何分

の便がありますよといった情報を、市さんに協力していただき案内所に載せるといったことも考えていきたいと思えます。

あと、先ほど動物園のように世代層がはっきりしている施設に対するバスの利用についての意見が出ましたよね。東京や大阪のような大都市圏でしたら、バスは割と住宅前まで来るような感覚なのですが、ちょうど大都市圏での鉄道の位置づけがこの街ではバスに近い状況で、そこが正直バス会社としても一番つらいところですよ。ここでは、JRさんの位置づけがある意味新幹線級になっています。駅間も離れていますし、我々バスとの接続がうまく出来ていない部分もあります。そのため、荷物が多かったり、自宅からバス停まで距離があつたりすると、特にお子さん連れの際にはバス利用が難しいと感じる方もいらっしゃると思えます。そこは私も苦心するところですよ。その一環としてフィーダー支線系統についてもお考えいただくということになりますよ、やはり乗り換えというものが発生します。非常に概括的になるかもしれませんが、交通事業者としては、今の街の姿にバスの路線を合わせるということも必要で、ニーズを把握し、路線の見直しや経路の提案などをしていくことで街の活性化にもつながっていくのではと考えています。まだまだ現時点では不十分かもしれませんが、計画を維持するために今後とも市さんと皆様方と一緒に考えていけたらと思っております。以上です。

○委員 先ほど、障害者の割引について申し遅れました。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳というものがありまして、その手帳を運転手に見せたら運賃が半額になります。国が障害者への配慮を行っているということですね。

○委員 それに属さないタイプのものもあるのでは？

○委員 いえ、手帳を持っていれば半額になります。

○委員 では持ち帰って確認をしてみます。

◎会長 私事ですが、昨年周陽地区で用事があったためバスで行こうと思ひ、インターネットで防長バスの時刻表を調べました。私は中央病院の裏と表にバス停があることを知らなかったのよ、表に行きたかったのよだが乗ったバスは裏に着きました。しかしバス停名さえきちんと把握できていれば、インターネットで時刻表を調べることができます。

○委員 山口運輸支局です。事業計画素案の62ページに「第7章 計画に位置づける事業とその実施主体等」という項目がありますが、網形成計画に位置づけられた事業でないよと国の補助対象にはなりま

せん。次年度にされる再編実施計画が国の補助対象になるかどうかですが、既に網形成計画を作られている自治体の事例を見ると、事業の①のような項目は再編実施事業に当たるということで、下の備考欄に「これは地域公共交通再編事業として実施する事業です」と書いてありました。そのような意思表示をすることも補助対象になりやすい要素かなと思います。

業務委託会社さんにお伺いしたいのですが、目標3の乗継の項目に、乗継利用者数を再編実施時に把握されると書いてありますよね。具体的にどうやって調べられるのでしょうか。それから目標5、転入者の転入後の公共交通の利用率がまだ書かれていませんが、いつ、どういう方法で実施するかを教えてください。

●事務局 ご質問ありがとうございます。まず一つ目、乗継利用者数の把握については当然通年でやるのが望ましいのですが、調査の効率を考えると、特定の日に結節点に調査員を配置し、乗継利用者がどれぐらいいるのか調査するのが一番現実的ではないかと思います。

二つ目の転入者の公共交通利用率については、転入窓口でバスマップ配布などのモビリティ・マネジメントを行い、「1、2ヶ月後あたりにアンケート調査票を送付させていただいてもよろしいですか。」と許可を得た上ではがきを郵送し、追跡調査をするということでは対応できないかと今考えているところです。

○委員 実施時期は正確に組まないといけない。再編実施の方は再編した後と明確に書いてありますが、転入者の方はいつかわからない。いつされますか。

●事務局 現状地を把握するところですか。現状値については、今の転入者ではなく、市民の公共交通利用率として設定することを事務局と検討させていただこうと思います。

○委員 では、時期は設定されるということですね。

●事務局 はい。

◎会長 その他よろしいですか。

○副会長 パークアンドライドの推進をするということですが、車とバスの乗継だけでなく、自転車とバスの乗継も考えられると思います。例えば最寄りのバス停まで自転車で行って、そのバス停には駐輪場があり、そこからバスに乗って出かけるということも考えられるのでそれも明記してはどうかと。

あと、事業内容の表に実施主体が書かれているが、交通事業者あるいは市という、2つの主体が主となっていますね。市民が参画

できる項目は少ないのですが、生活交通というのは市民が関わるべきものなので、この事業主体に関わる市民の出番を増やしてほしいです。例えば⑬番の市民に対するモビリティ・マネジメントは、市民を実施主体に入れるべきでしょう。あるいは⑮番、地域主体の移動手段確保の取組へのサポート制度の創設。ここも地域主体の事業手段を検討する段階で、市民によっては大きく関わることもある。といったように、なるべく実施主体に市民を入れてほしいなと思います。以上です。

◎会 長 検討をお願いします。

●事務局 はい。

◎会 長 その他ありますか。ないようでしたら、質疑を終了したいと思います。尚、今日いただいたご意見等を加えました素案の調整を事務局にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。それではご承認の方は挙手をお願いします。

ありがとうございます。それでは以上で、網形成計画案についての審議を終了いたします

4 その他

◎会 長 引き続き、次第4その他「第3回周南市中山間地域生活交通検討会の報告について」説明をお願いします。

●事務局 (資料について説明)

◎会 長 今のことについて何かご質問等ございますか。

○委 員 先ほど障がい者手帳があれば半額補助されると言いましたが、これについては障がい者を代表しまして私より皆様にお礼を申し上げたいと思います。

◎会 長 ありがとうございます。それでは他にご意見はないようございますので、以上で本日の質疑を終わりたいと思います。事務局の方にお返ししますのでよろしくをお願いします。

5 閉会

●事務局 野崎会長ありがとうございました。もう一点、今みなさんのお手元に前回の会議の議事録をお配りしております。こちらをまたご覧いただき、何か疑義がありましたら生活安全課の方に御連絡いただけたらと思います。1月末までお待ちしますので、特にご意見がないということでありましたら2月に入りまして議事録を市のホームページにて公開させて頂きたいと思います。

今後のスケジュールにつきましては、2月1日から2月29日までパブリックコメントを実施しまして、市民の方のご意見を反映し、3月中旬に委員の皆様へ報告したいと思います。第6回の交通会議につきましてはまたご案内をさせていただきますので、よろしくお願ひします。以上をもちまして、第5回周南市地域公共交通会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。